

鳥取県地震防災調査研究委員会第3回被害想定部会の議事概要

1 開催日時 平成27年8月25日（火）午後2時～4時

2 開催場所 鳥取県庁特別会議室（議会棟3階）

3 議事

（1）液状化危険度予測の修正案について

（2）急傾斜地崩壊危険度予測の修正案について

（3）建物被害予測の中間結果について

（4）地域の防災力の把握の方針について

（5）その他

4 議事概要

（1）液状化危険度予測の修正案について

液状化危険度予測について第2回部会で指摘のあった事項（鳥取県西部地震での液状化現象との整合等）等を修正し、震源毎の液状化危険度予測について了承された。

（2）急傾斜地等崩壊危険度予測の修正案について

「宮城県急傾斜地崩壊危険箇所カルテを用いた地震時斜面危険度予測方式 宮城県（1987）」に基いて、斜面の危険度ランクと計測震度により想定地震毎の斜面崩壊危険度の予測を行い、作業方針は了承された。

（3）建物被害予測の中間結果について

第2回部会において妥当性が了承された手法に基づいて算定した要因毎の建物被害予測の中間結果について審議した。予測手法・予測結果については了承が得られたことから、要因毎の重複結果を除いた建物被害予測を次回部会において審議する。

（注）この度の予測は要因毎の重複を除いておらず、また、現時点では津波浸水予測が確定していないため津波による被害予測は行っていない。

（4）地域防災力の把握の作業方針について

自主防災組織、消防分団、県民、市町村という地域の防災力を把握するためのアンケート調査の手法・対象等について、現在の被害想定課題等を踏まえて助言をいただいた。

○今後の予定

津波浸水想定、人的被害予測、交通被害予測、ライフライン被害予測を行って被害想定をまとめるとともに、災害シナリオの作成、被害予測システムの開発を本年度末までに行う。